

令和 6 年度第 3 回松戸市立博物館協議会 会議録

日 時	令和 7 年 3 月 9 日（日）10 時～11 時 40 分
場 所	松戸市立博物館 実習室
出 席 者	（委員） 会 長 小島 孝夫 委 員 佐藤 孝之 委 員 藤崎 裕二 委 員 大西 一樹 委 員 谷鹿 栄一 委 員 竹内 やよい 委 員 頓田 絵里子 （事務局） 教育長 波田 寿一 生涯学習部長 井之浦 太郎 博物館館長 渡辺 尚志 文化財保存活用課職員（博物館） 11 名
議 題	報告 （1） 松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の進捗について （2） 令和 6 年度事業報告について 議事 （1） 松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の事業評価について （2） 博学連携展示「松戸探検 100 年前からのくらしのうつかわり」について（内覧・意見交換）
公開 非公開	公開（傍聴者 0 人）
配布資料	・ 松戸市立博物館リニューアル計画進捗状況の概要（資料 1） ・ 令和 6 年度事業報告（資料 2） ・ 松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の事業評価について（資料 3） ・ 事業評価スケジュール（参考） ・ 博学連携展示チラシ

司会 議事に入る前にご報告を申し上げます。松戸市立博物館管理運営規則第14条第2項の規程により、本会議の成立は、委員の過半数の出席が必要とされております。本日は7名のご出席をいただいておりますので、本会議は成立となります。

会長 傍聴希望者はいませんので、このまま議事に沿って進めて参ります。
報告(1)「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の進捗について」説明をお願いします。

報告(1)「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の進捗について」事務局から説明

会長 ただ今の説明について皆さん何かございますか。ただ今の説明にありましたとおり、松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の進捗については順調に進んでいるということでございます。それでは続いて、報告(2)「令和6年度事業報告について」事務局よりお願いします。

報告(2)「令和6年度事業報告について」事務局から説明

会長 ありがとうございます。ただ今、この後の議事「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の事業評価について」、私たちが外部評価を行うにあたって参考となる事業報告の概要を説明いただきましたが、皆さん何かございますか。それでは今は年度途中ですので、新年度以降に令和6年度事業報告の完成版を資料として提供いただける、ということですのでよろしく願いいたします。

続いて議事(1)「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の事業評価について」こちらは前回の協議会での議事を経て、私たちの任期中に外部評価を行うということになっておりますが、こちらの様式ややり方について事務局から説明いただきます。お願いします。

議事(1)「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の事業評価について」事務局から説明

会長 ありがとうございます。ただ今の説明を受けて皆さん何かございますか。
委員 例えば資料3-2の内部評価詳細ですが、事業目標から成果・課題までを事務局にて作成し、それに対して私たちが評価コメントをする、ということでしょうか。

事務局 資料 3-2 内部評価詳細については事務局にてすべて作成します。

委員の皆様には事務局が作成した資料 3-1 内部評価項目表と、資料 3-2 内部評価詳細をもって、資料 3-3 外部評価シートを作成いただきます。

会長 資料 3-2 内部評価詳細については事務局で取り纏めるということですね。

事務局 はい、そうです。

会長 ほかに皆さん如何でしょうか。

委員 そうすると私たちは協議会の場で評価を作成するのではなく、事務局から提供された資料をもとに、自宅等で個人で評価を作成するというのでしょうか。

事務局 おっしゃる通りです。

委員 すると、例えば資料を読んで何か疑問が生じた場合にはどうすれば良いのでしょうか。そういった議論の場が無いということでしょうか。

会長 協議会の開催は私たちが評価を作成した後に、ということですので、私たちは資料をもって個別に評価を行うということになると思います。

事務局 もし資料について疑問などが生じましたら、その都度お問合せいただければ事務局にて回答いたします。

会長 その場合の回答は、委員全体に共有いただきたいです。

事務局 はい、委員の皆様には回答いたします。

会長 ありがとうございます。私たちは外部評価、ということで最終的に客観的に評価しなければなりません。先ほど委員から、疑義が生じた際に認識共有の場がないことについて質問がありました。事務局から質疑応答については委員全体に共有する、ということでしたので私たちはそれを踏まえて個別に評価を行う、ということになります。

事務局 事業報告書と内部評価については完成したものが提供されますので、そちらを参考にいただければと思います。

会長 外部評価シートに ABC をつけることは簡単ですが、なぜそうしたのか、委員の皆さんがきちんと説明できるようにしなければなりません。様式は単純ですが、評価を行うにあたり生じた疑問は事務局に質問し、それに対する回答は共有されたうえで評価を作成するということになりますので、よろしく願います。

委員 例えば内部評価詳細というのは、内部評価項目表の重点項目のところだけが作成されてくるのか、それとも全体について評価が作成されて提供されるのかどちらでしょうか。

事務局 内部評価詳細についてはおっしゃる通りその年度の重点項目について作成されますが、ご評価いただく際には全体の評価をいただきたいと思います。

内部評価項目表に重点項目以外についても実績が入った状態で提供されますので、そちらと合わせて全体を評価していただきます。その年度ごとに博物館が何を重視してどこに向かっているのか、ということが明確になり、委員の皆様にとっても評価し易いのではないかと考えこのようなやり方となりました。

委員 内部評価詳細については重点項目のみで、外部評価シートは全体をみて評価するということですね。わかりました、ありがとうございます。

委員 様式はデータでもいただけますか。

事務局 データでも送付します。

会長 それでは他に如何ですか。

委員 定量指標については目標値があり分かり易いですが、定性指標については難しいところがあると思います。例えば内部評価指標の中にその辺を補うような説明などが入るのでしょうか。

事務局 重点項目については内部評価詳細にて補足することができます。一方で、重点項目ではない定性指標もございますので、そちらについてご不明な点は事務局にお問い合わせいただければ皆様に回答いたします。

委員 ありがとうございます。

会長 先ほど事業報告の概要で博物館の詳細な事業について説明されましたが、こうしたものを踏まえて事務局は内部評価を行い、それをもって私たちが外部評価を行うということになりますので、関係性を鑑みると今日の協議会の事務局の意図がみえますね。

今までの議論を鑑み、事業評価は博物館をより良いものにしていくためのものですので、皆様の専門性や範疇で適切に評価いただき、疑問点は事務局に問合わせていただき、その回答は委員全員に共有いただく、ということで進めていくこととなります。それでは、議事(1)「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画の事業評価について」、事務局提案の様式、やり方で進めていくということでよろしいでしょうか。

「異議なし」の声

会長 ありがとうございます。議事(1)については提案のとおり承認されました。それでは続いて、議事(2)「博学連携展示 松戸探検 100 年前からのくらしのうつりかわり」について事務局からお願いします。

事務局 それでは、只今から「博学連携展示 松戸探検 100 年前からのくらしのうつりかわり」の内覧となりますので、皆様、企画展示室にご移動をお願いします。

(2)博学連携展示「松戸探検 100 年前からのくらしのうつりかわり」について内覧

会長皆様、内覧いただき感想や意見等何かありますでしょうか。

委員毎年展示を拝見しておりますが、私たちが拝見するのが土日、ということもあり子どもが多くいて活気があり、その場の係員の方が声掛け等積極的になさっていて、とても良い展示という印象があります。

委員とても楽しい展示だと思います。子どもたちが写真や道具を見て、触って、自分たちの今の生活と違って昔はこうだった、ということが体感でき、帰宅してから家族で話題にできるような楽しい展示だと思います。

委員とても懐かしく拝見いたしました。子ども学芸員のレポートも力の入った内容でとても良く、こういった取り組みからも昔の懐かしい生活について伝えていける事が良いと思います。やはり実際に触ったりできることが大切だと思いますので、リニューアル後にも触れる、体験できる展示になっていけば良いと感じました。

委員とても懐かしく時間が止まったような展示に感じました。例えば〇年前、とか〇〇年代、とかいったような数字の列記があると子どもたちも一層懐かしさを認識できるかもしれない、と感じました。

委員先週子どもたちと拝見しましたが、小豆を量るコーナーでも実際に解説を受けながら体験できて興味深かったです。この取り組みがリニューアルに入るときにはどうなるのか、ということについてはこちらからも要望していく必要があると思いました。また、遠い学校からすると駅からバスなりがあるとより良いと個人的には感じました。

委員いつも公園と合わせて楽しく利用しています。昔の生活道具、例えば洗濯機などについて写真等を拝見しながら、実際に使い方を教えてもらえるということがとても良かったです。小学生学芸員についても、小学生が仕事として展示を行っているということが大切で、そのような試みを増やしていただき、博物館が子どもたちにとって身近なものになっていくと良いと思います。

会長皆さん、ありがとうございました。私も拝見し、小学生学芸員のパネルなど手の込んだ展示もあったのがとても良かったですね。実際に手で触れる、見れることが大切で、その体験を家で家族に共有することで、博物館と家族を繋げていけるような流れになると良いと思います。

議事は以上となりますので、進行を事務局にお返しします。

司会 ありがとうございました。

それでは、最後に館長より皆様にご挨拶申し上げます。

【館長 挨拶】

司会 最後に、事務局から連絡事項がありますのでお願いします。

【事務局から事務連絡】

司会 次回の協議会は、令和7年8月頃に開催を予定しております。本日は長時間にわたってご審議いただき、ありがとうございました。以上をもちまして令和6年度第3回松戸市立博物館協議会を終了いたします。